

令和7年度 岩瀬管内景況及び支援要望調査

実施機関：岩瀬管内商工会広域連携協議会

（岩瀬商工会、長沼商工会、大東商工会、鏡石町商工会、天栄村商工会）

調査期間：令和7年5月20日～令和7年7月31日

■ 調査の目的と概要

1. 調査対象

昨今の経済情勢や経営環境の変化の中で、会員皆様の「経営状況」や「経営上の問題点」等を調査し、実態把握とともにニーズに対応した伴走支援を推進するため。

2. 調査対象

岩瀬管内商工会広域連携協議会を構成する5商工会の会員事業所

- ・須賀川市(岩瀬商工会、長沼商工会、大東商工会)
- ・鏡石町(鏡石町商工会)
- ・天栄村(天栄村商工会)

3. 回答企業数: 198件

4. 調査対象期間: 令和7年5月20日～7月31日

5. 調査方法

- (1) 対象商工会の経営指導員等による訪問直接調査
- (2) 調査用紙を郵送し、WEB回答フォーム又はFAX又は持参により回収

【管内全体の景況感及び支援ニーズの概要】

当商工会管内の中小企業の多くは、「売上高」および「所得（経常利益）」が前年並みで推移しているものの、「売上減少」と回答した事業所も一定数（38.4％）存在しており、依然として厳しい経営環境に直面している事業者が多いことが明らかとなった。一方で、売上・所得ともに増加傾向を示す企業も一定割合存在しており、地域経済における景況の二極化が進んでいる現状がうかがえる。

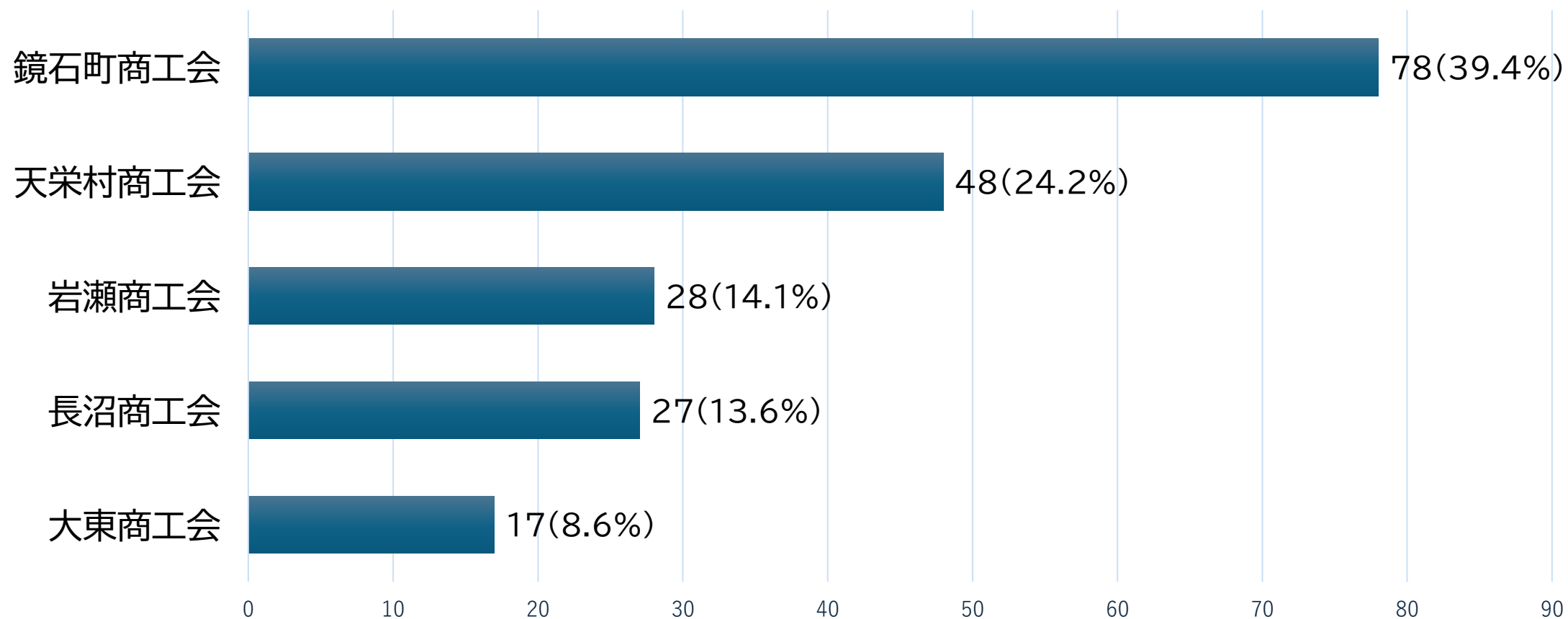
資金繰りの面では、「変わらない」とする回答が半数近くを占める一方で、「苦しくなった」とする事業所も約4社に1社にのぼり、一部では資金面の逼迫が深刻化している状況にある。さらに、従業員を抱える企業の賃上げ状況においても、「実施した・予定している」が4割程度にとどまり、過半数が「現状維持・検討中」と回答していることから、人件費上昇への対応にも苦慮している実態が浮き彫りとなった。

こうした厳しい経営環境の中で、中小企業が重点的に取り組みたい課題として最も多く挙げているのが「新顧客の獲得・販路開拓」であり、これに加えて「原材料・燃料費等のコスト高騰への対応」「人材の確保・育成」など、売上拡大とともに経営基盤を守るための取り組みが求められている。

また、商工会に対する支援要望では、「補助金申請支援」が最も多く寄せられた。これは、申請にあたって高度な専門知識や事務的労力が必要とされる中、商工会の支援によって実際に補助金を活用できた成功体験が広がっていることの表れでもある。そのほか、「販路開拓支援」「人材確保・育成支援」といった成長支援へのニーズも高く、商工会が引き続き伴走型支援を強化していく必要がある。

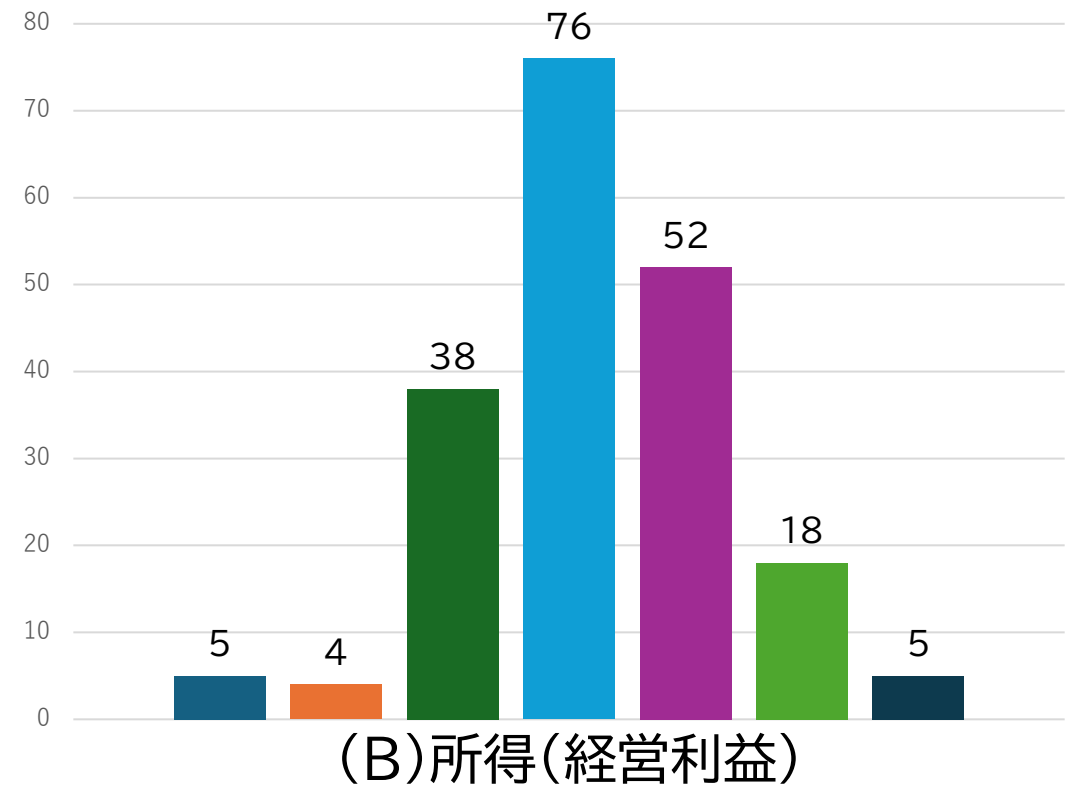
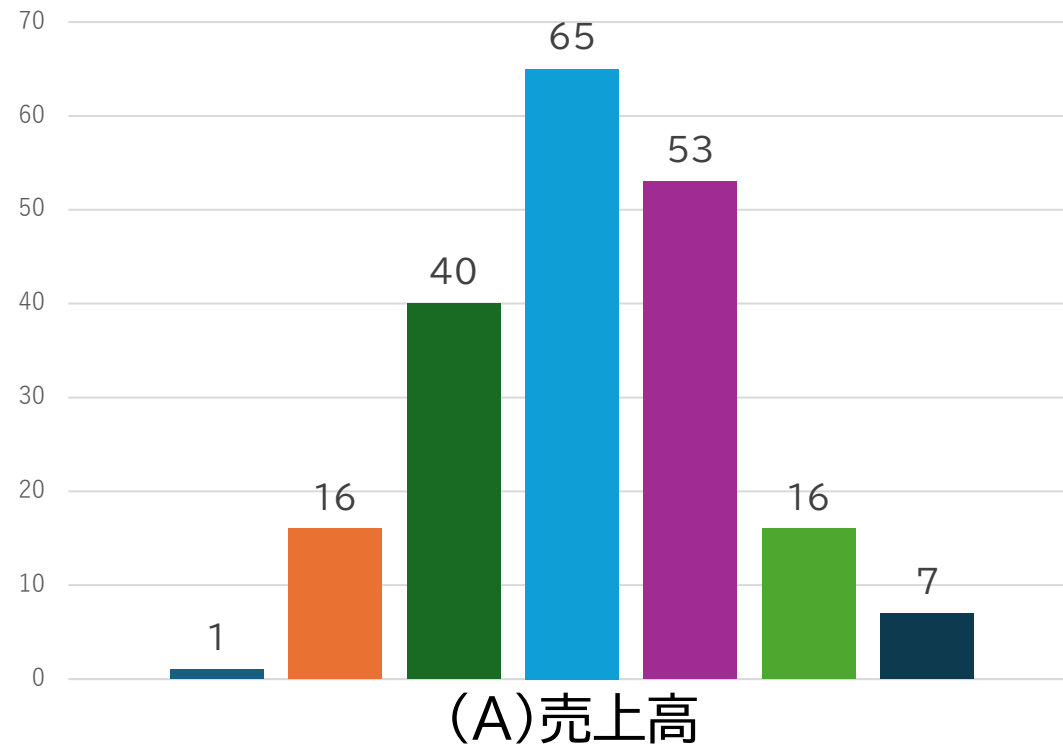
さらに、事業承継に関しては、「自分の代で廃業」との回答が最多であり、後継者が不在または未定である企業が多数を占める。承継時期も「未定」が7割近くを占めており、事業承継の準備が進んでいない企業が非常に多い。このような状況を踏まえ、商工会としては、事業承継に関する情報発信、個別相談の充実、後継者育成支援などをより一層強化していく必要がある。

所属商工会
198件の回答

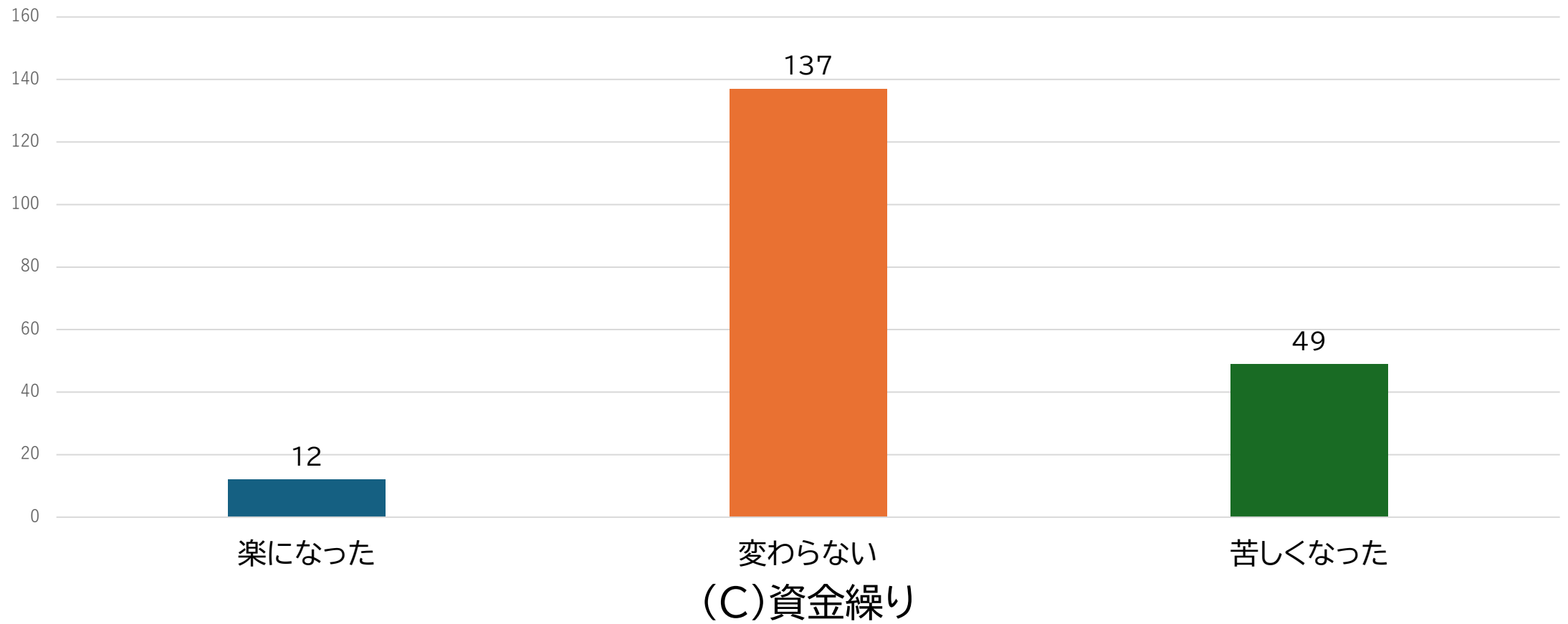


【設問1】昨年同時期と比較して今年はどれに該当しますか？（該当項目各1つ）

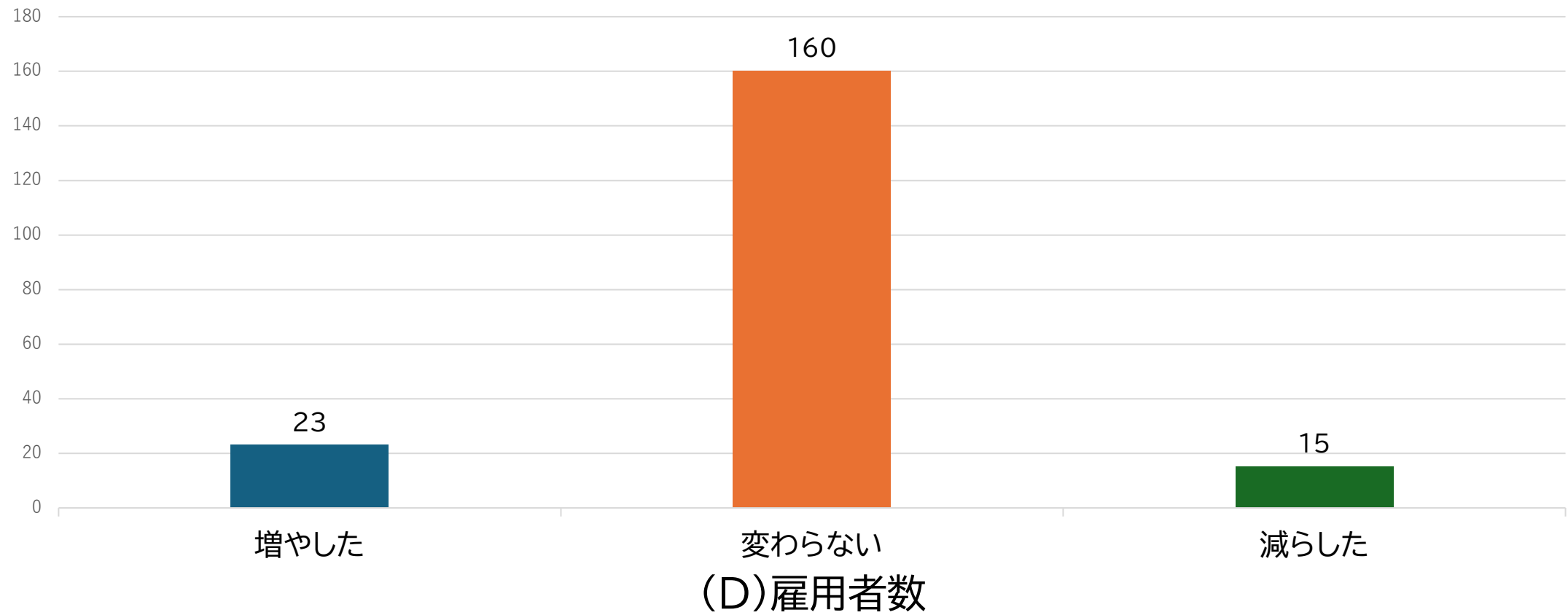
■ 50%以上増加 ■ 20-49%増加 ■ 5-19%増加 ■ 前年並み ■ 5-19%減少 ■ 20-49%減少 ■ 50以上減少



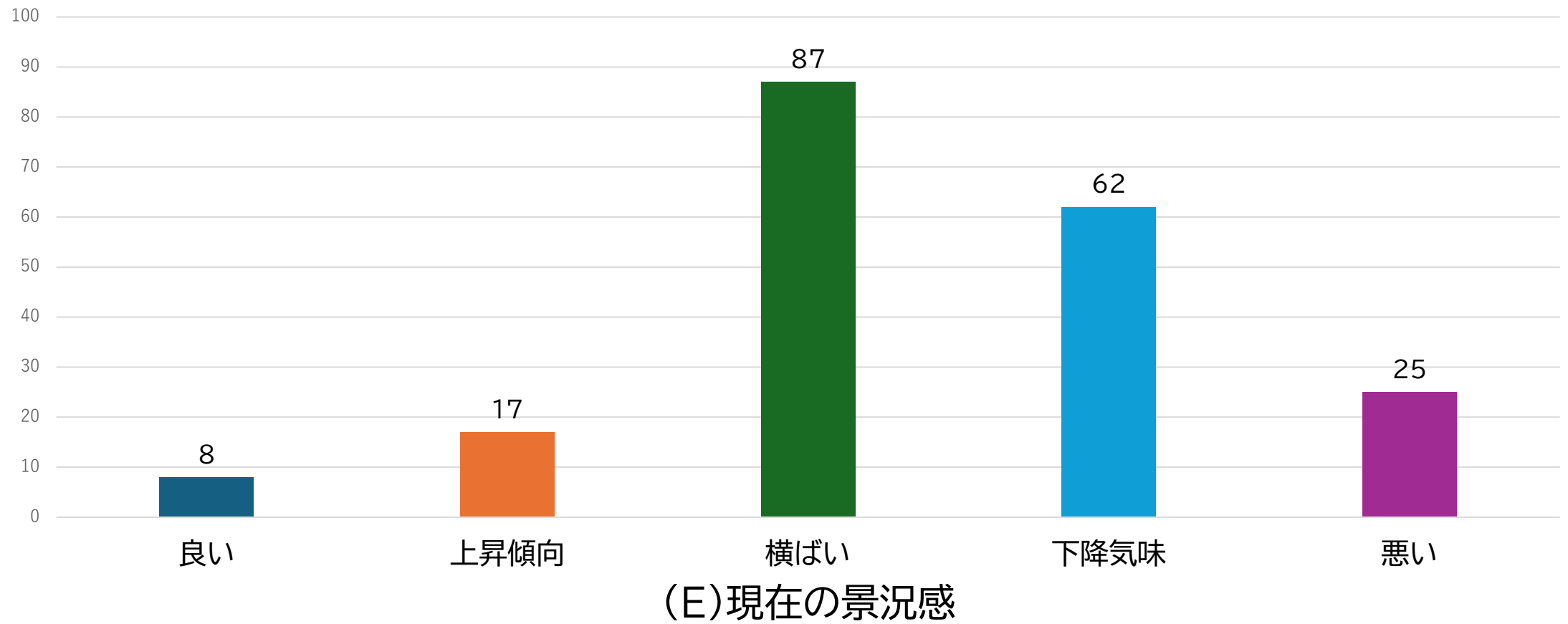
昨年同時期と比較して今年はどれに該当しますか？(該当項目各1つ)



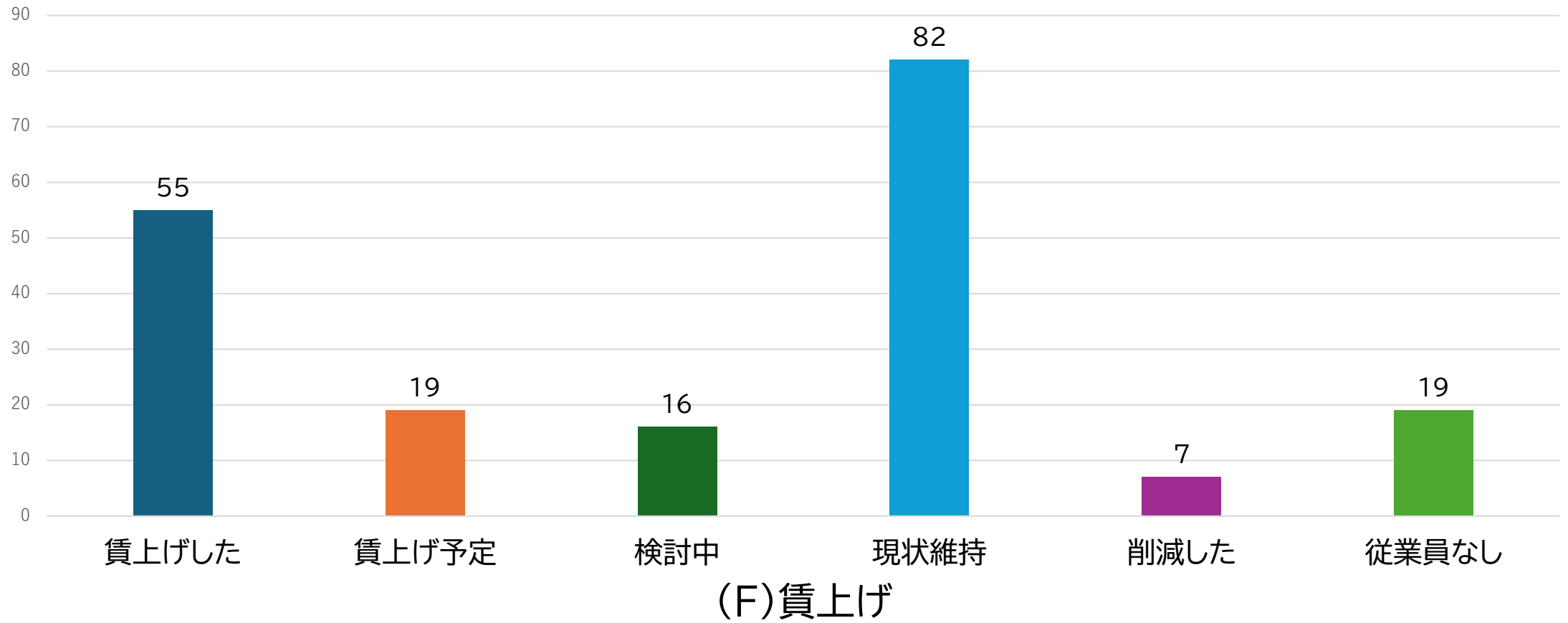
昨年同時期と比較して今年はどれに該当しますか？(該当項目各1つ)



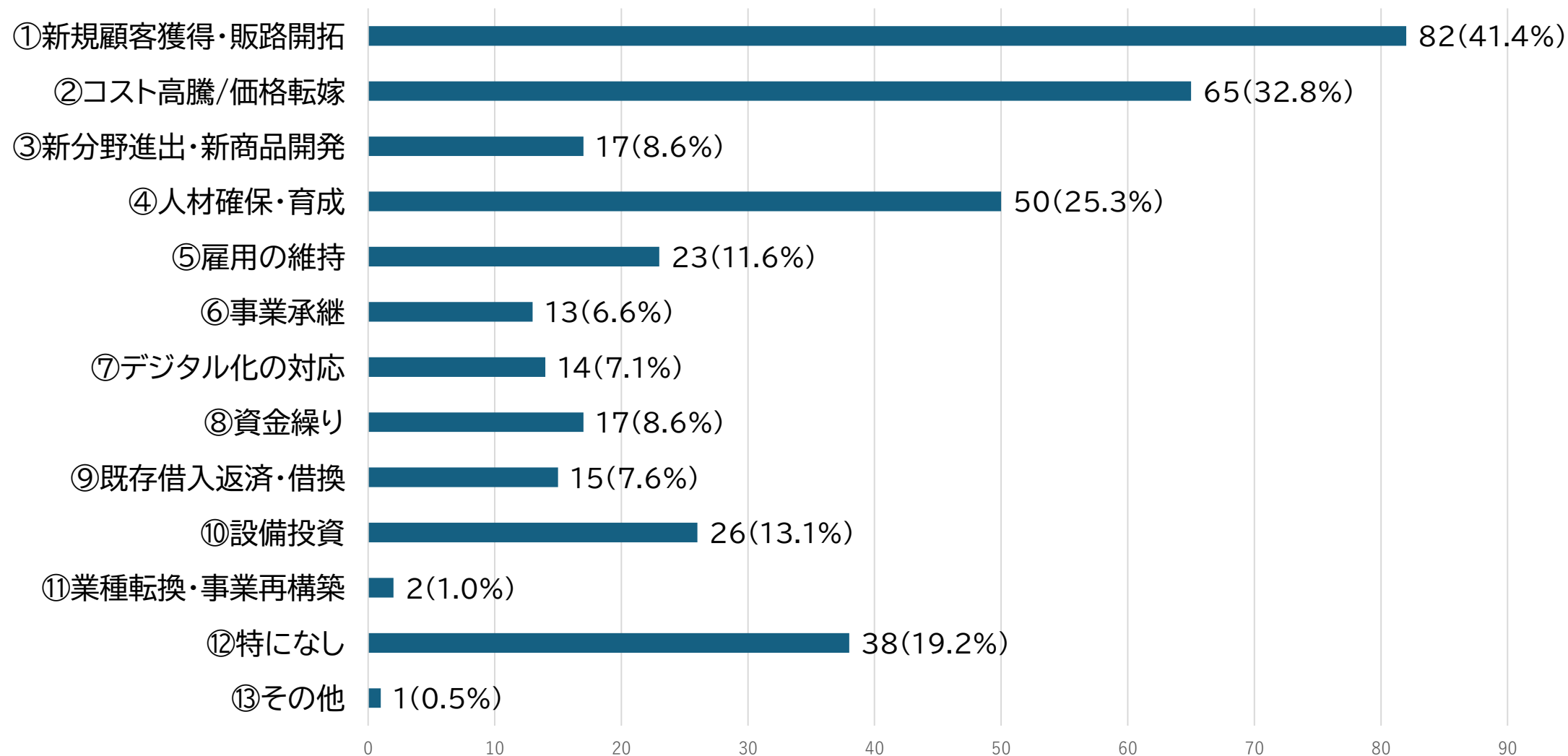
昨年同時期と比較して今年はどれに該当しますか？(該当項目各1つ)



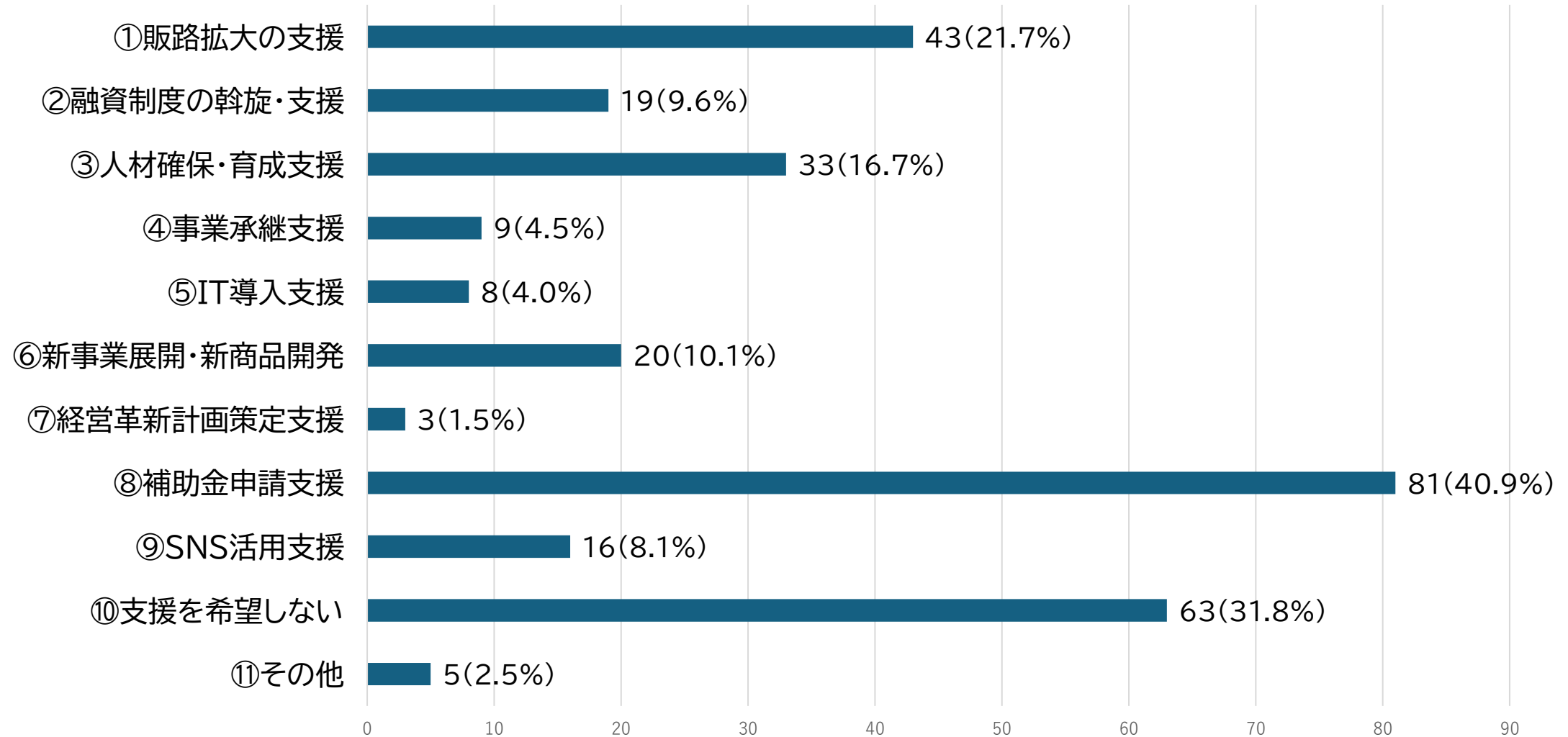
2025年の賃上げの状況はどれに該当しますか？(該当項目各1つ)



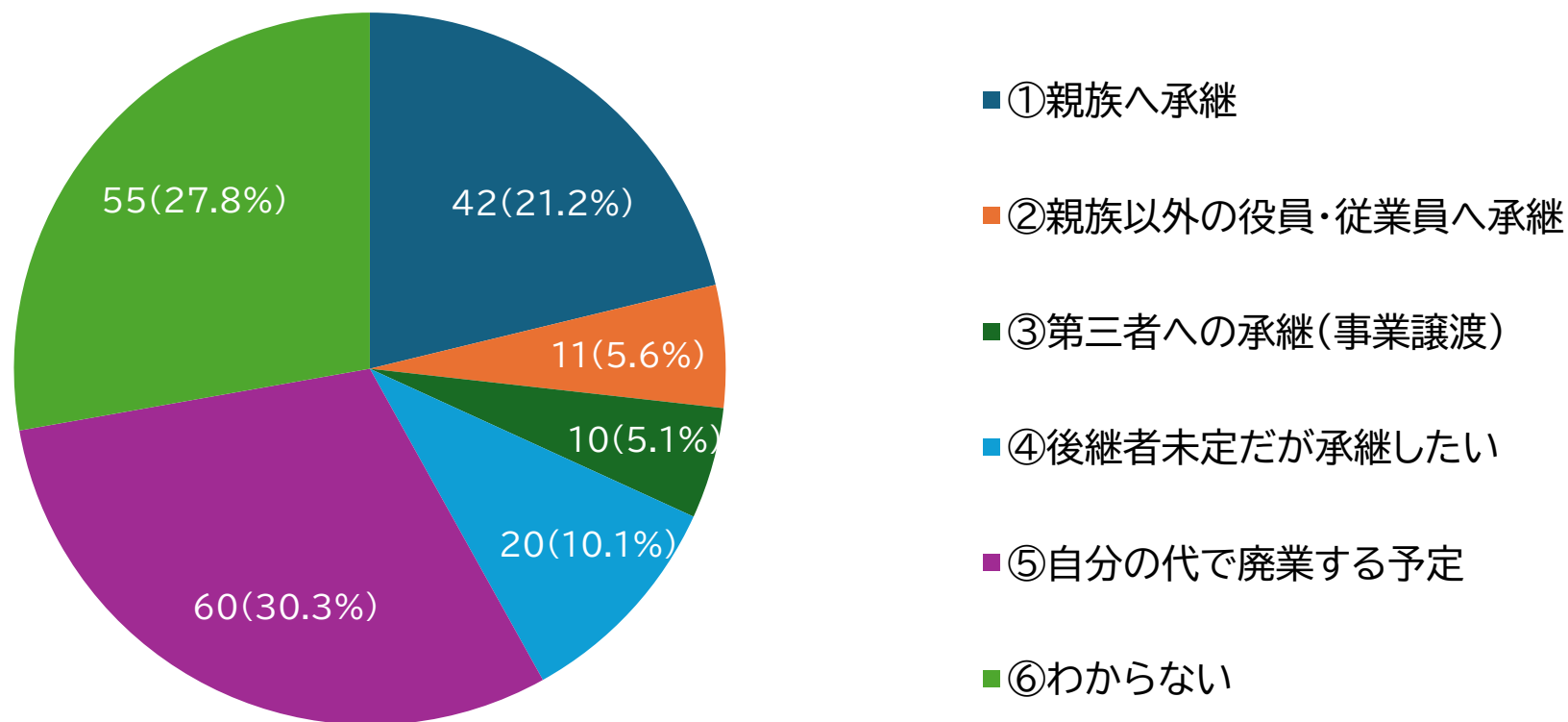
【設問2】重点的に取り組みたい経営課題は何ですか？（該当項目3つまで）
198件の回答



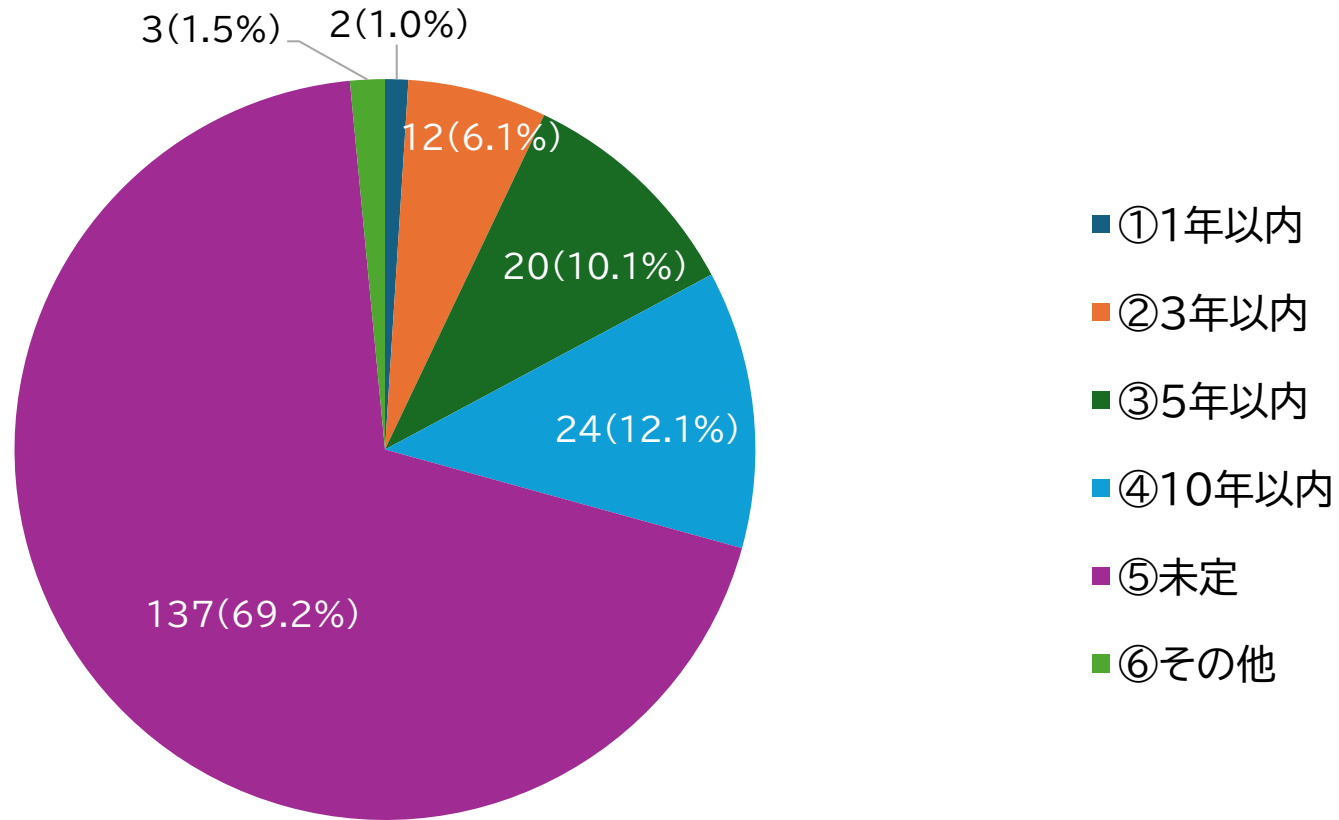
【設問3】上記課題を解決するために、商工会どのような支援を希望しますか？（該当項目3つまで）
198件の回答



【設問4】将来の事業承継に関する方向性を選択してください。(該当項目各1つ)
198件の回答



【設問5】設問4の時期はいつ頃を予定していますか？(該当項目各1つ)
198件の回答



【設問6】景況感やその他支援要望等ございましたら、ご自由にお書きください。

24 件の回答

- ・今のところ昨年より売上を伸ばしているが経営利益が上昇しているわけではなく原材料費、水道光熱費の上昇を実感している。今ある資金での経営はギリギリ。
- ・従業員の高齢化等により新たな人材確保や経営スタイルの見直しが課題になってくる。
- ・高校生のアルバイトでも1100円を超える時代、新規就労者を確保するのが大変。
- ・景気が社会全体に下降ぎみな感じがする。
- ・原材料高騰により価格転嫁したいが、客数減が不安で現状維持である。
- ・コロナ感染症パンデミック後、若干客の回復は見えるがまだまだ以前の様には戻らないのが現状。